

2005 年度事業報告書

【1. エスペラントに関する研究調査・発表】(寄付行為第3条1)

- 1 研究発表会：10月21日，横浜市（第92回日本エスペラント大会会場）で次の講演があり，これに関して予稿集を発行した。参加者数31人。
 1. かどやひでのり：言語権とエスペラント学習観
 2. 白井裕之：言語学習と接触言語の比較～エスペラントとトクピシンを中心に
 3. 佐々木照央：2005年前期の埼玉大学エスペラント授業
- 2 エスペラント日本語辞典編集委員会：編集委員会を本会会館で5回（第96回～100回，5/3-5（合宿），7/17，8/20-21（合宿），11/13，1/22）開き，原稿の修正・手直しをおこない，校正方針等について協議した。
- 3 教授法研究会：研究教育部主催でエスペラント会館で6回開催（5/14，7/2，10/1，11/26，1/14，3/4）。

【2. 講習会・講演会・大会の開催及び後援】(寄付行為第3条2)

- 1 講習会（事業名，日付，場所，参加者，備考）
 - ・第38回エスペラントセミナー（共催：閑谷セミナー実行委員会，関西エスペラント連盟）：4月29日～5月1日，「岡山県青少年教育センター閑谷学校」（備前市），参加85人。学習クラス6。
 - ・秋の中級セミナー：9月23日～25日，八ヶ岳エスペラント館，参加20人，2クラスを交互受講。
 - ・冬の中級セミナー：2月10日～12日，本会会館，早稲田奉仕園（宿泊）。参加23人。2クラスを交互受講。
- 2 講演会
 - ・第5回公開シンポジウム「日本人は『国際語』とどうつきあってきたか」：10月22日，横浜市開港記念会館で同会場で行われた日本エスペラント大会の特別公開番組として開催。吉武正樹「『国際語』思考とグローバリゼーション」，白井裕之「近代日本におけるエスペラントの社会的機能」，國弘正雄「英語にとり憑かれた日本」。参加者約400人。
- 3 大会
 - ・第92回日本エスペラント大会：10月21日～23日，横浜市開港記念会館で開催（共催：横浜エスペラント会，日本エスペラント大会常置委員会）。参加571人（うち不在参加122人，外国からの参加は8カ国9人，ほかに一般入場者107人）。
- 4 後援（事業名：日付，主催，場所）
 - ・第22回エスペラント春の1日講座：4月10日，都区内エスペラント会連絡会，本会館
 - ・国際語エスペラント・1日講習と交流の集い：4月24日，イーハトブエスペラント会，盛岡市
 - ・第18回みどりの学校：5月2日～5日，同実行委員会，長野県高遠町
 - ・2005年エスペラント入門講座：5月11日～9月。福島エスペラント会，福島市
 - ・第53回関西エスペラント大会：6月4日～5日，関西エスペラント連盟，京都市
 - ・第54回関東エスペラント大会：6月4日～5日，関東エスペラント連盟，東京都江東区

- ・国際共通語エスペラント入門講習会：10月6日～12月5日，ロンド・コロノ，本会館
- ・第8回中四国エスペラント大会：10月8日～9日，中四国エスペラント連盟，松山市
- ・『未来を開く歴史』の共同翻訳事業：1月21日，Esperanto por Komuna Historio (EKOHIS)
- ・アンドレイ・コロベイニコフ ピアノ演奏会：2月28日，(社) 熊本県点字図書館，熊本市
- ・アンドレイ・コロベイニコフ ピアノ演奏会：3月2日，同会実行委員会，高知県
- ・アンドレイ・コロベイニコフ ピアノ演奏会：3月5日，宮古新報(株)，平良市
- ・アンドレイ・コロベイニコフ ピアノ演奏会：3月6日，(社) 沖縄県視覚障害者福祉協会，那覇市
- ・アンドレイ・コロベイニコフ ピアノ演奏会：3月10日，アンドレイ友の会・日本，横浜市
- ・アンドレイ・コロベイニコフ ピアノ演奏会：3月15日，アンドレイ友の会・日本，東京都中央区

【3. 雑誌及び図書等の刊行】(寄付行為第3条3)

1 出版(新版，改訂版等)

- ・機関誌「エスペラント La Revuo Orienta」を年11回を発行した(8-9月合併号)。7月に図書カタログを発行した。機関誌の音声版(カセットテープ)を視覚障害者会員等に発送している。通常号はA5判，40ページ，発行部数1800。各号の特集：4月号「ザメンホフに関する3冊の本」，6月号「アンデルセン生誕200年」，7月号「講師が勧めるやさしい本」，8-9月号「2004年エスペラント運動年鑑」，10月号「第90回世界エスペラント大会」，11月号「第4回アジアエスペラント大会」「追悼いとうかんじ」，12月号「第92回日本エスペラント大会」，1月号「国際的な市民活動と言語問題 そして，エスペラントの可能性」，2月号「2005年文芸コンクール入選作品」，3月号「シンポジウム・日本人は『国際語』とどうつきあってきたか
- ・DVD「言語からはじまる民主主義」を10月に発行
- ・ポント双書10『支部あんない』(JEI支部を訪ねようの改訂版)を3月に発行
- ・ポント双書11『エスペラントで「もの」を集める』を3月に発行

【4. その他本会の目的を達成する事業】(寄付行為第3条4)

1 総務部関連

1-1 顕彰

- ・小坂賞：ヤマサキセイコーさん。著述(「エスペラント語原小辞典」等)，講習(教授法，新テスト)，対外的活動(ユネスコでの活動等)，実務的な貢献に対して10月23日，日本エスペラント大会閉会式で授与式を行った。副賞5万円と盾が贈られた。
- ・永年会員顕彰：会員歴50年目の会員6人，30年目の会員27人を日本エスペラント大会会場で顕彰した。

1-2 役員改選

- ・2006年-2007年期の評議員13人が選任された。

1-3 その他

- ・個人情報取扱規程を定め事務取扱責任者を指名した。

2 財務部関連

- ・均衡予算の原則を貫いた。

3 組織部関連

3-1 会員（財団法人の維持員）

- ・新入会員勧誘，会費継続依頼，新入会員アンケート，会員統計の作成
- ・維持員会総会：10月22日日本エスペラント大会会場で維持員会総会を開催，出席36人。
- ・会員数：12月末で会員数は1344人（前年比11人減）。

3-2 他のエスペラント団体

- ・4月17日にJEI維持員会支部代表者会を本会館で開催。参加22支部。
- ・運動年鑑の作成，地方会等にアンケート調査をし結果をエスペラント誌8-9月号に発表
- ・維持員会支部新規：福井支部（1/18承認），徳島支部（1/31承認），長崎支部（3/26承認）

4 国際関係

4-1 第89回世界エスペラント大会への取次ぎ，代表団派遣，参加団の編成

- ・7月23日～30日，リトアニアのヴィリニユス市で開催された大会の受付けを取次いだ。
- ・本会代表として東海林敬子，田平正子両理事を派遣した。
- ・大会へ2コース48人（別行動を含む）の参加団を編成した。
- ・開会式に在リトアニア日本大使館大床康司大使を来賓として招請した。

4-2 第4回アジアエスペラント大会への取次ぎ

- ・8月25日～29日までネパールのカトマンズ市で開催された第4回アジアエスペラント大会の受付けを取次いだ。参加団は結成しなかった。

4-3 世界エスペラント協会（UEA）への協力

- ・日本における国別代表組織として，会費・寄付金などの取次ぎを実施した。
- ・UEAの「アジア基金」を取次いだ（309,870円）。
- ・UEAの「アフリカ基金」を取次いだ（26,000円）。
- ・第92回日本エスペラント大会において，分科会「アジアエスペラント運動」と「UEA-delegitoj」を開催した。

4-4 海外文通希望者への文通取次

- ・日本の海外との文通希望者と，海外の日本との文通希望者との間を取り次いだ。

5 編集部関係

- ・編集会議を10回本会館で開催：4/28，6/9，7/7，9/1，10/6，11/4，12/1，1/10，2/4，3/16

6 研究教育部関連

6-1 エスペラント試験

＜エスペラント学力検定試験合格者＞

- ・1級：10月22日，日本エスペラント大会で1人。
- ・2級：10月22日，日本エスペラント大会で1人。
- ・3級：4月30日，セミナーで5人，10月22日，日本エスペラント大会で4人，合計9人。
- ・4級：4月30日，セミナーで3人，10月22日，日本エスペラント大会で4人，合計7人。

<新テスト>

- ・受験者：4月30日，6月5日関西エスペラント大会で4人，セミナーで5人，10月22日，日本エスペラント大会で3人，合計12人。

6-2 シンポジウム委員会

- ・公開シンポジウムを企画，準備した。開催計4回（4/14，5/25，10/12，2/22）。

6-3 その他

- ・ILEI（国際教育者エスペランティスト連盟）日本支部として2007年夏のILEI国際大会の日本開催について関係部門と協議

7 広報部関連

- ・ウェブサイトを管理維持し，「掲示板」を設置した。
- ・文学座公演「エスペラント-教師たちの修学旅行の夜」の上演にあたりエスペラントの発音指導等を行った。また，参観者にエスペラントのチラシを配布した。
- ・学校演劇「緑の星の下に」を上演した東京，福岡，岩手の中学校に資料を提供した。

8 出版部関連

- ・エスペラント日本語辞典の出版を目指した体制を作った。

9 日本エスペラント運動百周年記念事業

- ・第5回，第6回会議の開催（4/17 本会館，10/23 日本エスペラント大会会場）
- ・春の全国一斉講習会「あっちでもこっちでも」を呼びかけたところ，全国約40カ所が名乗りをあげた。4月20日に全国のマスコミ約100カ所にお知らせを発送。
- ・6月12日の「エスペラントの日」の案内を，5月下旬にをマスコミ約120カ所に送付。
- ・9月15日秋の全国一斉講習会「あっちでもこっちでも」に，全国約40カ所が名乗りをあげた。9月15日にマスコミ約120カ所にお知らせを発送。

10 第92回世界エスペラント大会（2007年，横浜市）準備

- ・国内準備委員会を結成し，世界エスペラント協会に承認された。
- ・世界エスペラント協会の世界エスペラント大会事務局長クレイ・マガリャエス氏が4月2日～7日まで来日し，横浜市などを訪問，会場を視察した。
- ・6月に，国内準備委員会のホームページを開設した。
- ・第90回世界エスペラント大会（ヴィリニウス）で横浜紹介DVDを分科会で上演し，スタンドを出して第92回世界エスペラント大会の広報に努めた。また世界エスペラント協会会長，関連理事と会合を持った。
- ・国内準備委員会会議第1回～4回を開催した（4/3 横浜にて，7/10 本会館にて，10/22 日本エスペラント大会会場にて，3/12 国際会議場パシフィコにて）。
- ・9人の顧問に就任を要請した。
- ・大会のシンボルマークを公募で決定した。
- ・2006年3月11日～16日まで，世界エスペラント大会事務局長クレイ・マガリャエス氏が来日。会場視察，宿泊施設視察，旅行社との打合せを行った。

- ・横浜市，財団法人横浜観光コンベンションビューロー，独立行政法人国際観光振興機構，横浜みなとみらいホール，パシフィコ横浜から後援名義使用許可を得た。

11 ハケ岳エスペラント館の事業

- ・概要：開館は4月9日～11月19日で，8月は連日，運営委員が宿直し，全日開館した。
- ・開館祭り，エスペラントを楽しもう，散策会，カメラ講習会，詩と音楽の会，エスペラントで話す会を館が主催となり開催した。同館を利用して関東エスペラント連盟合宿等が開かれた。
- ・第7回エスペラント漬け合宿を主催：8月20日～22日，参加15人。

12 図書販売及び海外雑誌の取次

- ・本会出版物及び取次図書を本会事務所で直接販売したほか，通信販売，及び取次会社を通して一般書店で販売した。エスペラントの主な海外雑誌を取り次いだ。また，エスペラント図書の展示即売会を実施した。

13 図書館

- ・毎週水曜日を図書整理日として第2水曜日に打合せ会を持ち，4階のエスペラント図書館を整備し，研究教育の便を図るとともに，3階に貸出可能な早稲田文庫を整理した。
- ・いとうかんじ文庫を新設した。